

会 議 録 (概要)

会議の名称	第4回佐渡市歴史的風致維持向上協議会
開催日時	令和元年11月28日(木) 午前10時30分開会～午後12時00分閉会
場所	佐渡市役所相川支所
議題	議事 ・歴史的風致維持向上計画書の本文(案)について 報告事項 ・今後のスケジュールについて
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p><委員> 会長 岡崎篤行 委員(学識経験者) 副会長 小林祐玄 委員(関係団体) 加藤透 委員(関係団体)、富田龍彦 委員(関係団体)、 松川真 委員(行政機関)、樋口政史 委員(行政機関)、 弾正成子 委員(地域代表)、三木緑 委員(地域代表)、 伊藤光 委員(市職員)</p> <p style="text-align: right;">9名</p> <p><オブザーバー> 国土交通省北陸地方整備局建政部 都市調整官 田中正克、係長 小熊涉</p> <p><事務局> 世界遺産推進課 課長 坂田和三、課長補佐 下谷徹、室長 岩崎成正、 係長 本間正寛、主任 若林篤男、主事 市川守</p> <p>建設課 課長補佐 南藤和文、係長 川上晃一、主任 吉川歩</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・佐渡市歴史的風致維持向上計画(素案) 事前配布資料 ・佐渡市歴史的風致維持向上計画策定のスケジュール 資料1 ・佐渡市歴史的風致維持向上協議会 委員名簿 ・佐渡市歴史的風致維持向上協議会 条例
傍聴人の数	3名

備考	
----	--

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
坂田課長	<p>おはようございます。佐渡市世界遺産推進課長の坂田でございます。定刻になりましたので、只今より佐渡市歴史的風致維持向上協議会、第4回の会議を始めさせていただきます。</p> <p>初めに、当協議会の岡崎会長からご挨拶をお願い致します。</p>
岡崎会長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>今回の会議が予定では最後になるということになっておりますので、言いたいことを是非今日は仰っていただいて、充実した議論ができればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
坂田課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは会議を進めさせていただきます。まずは本日の会議の成立について、ご報告を致します。</p>
岩崎室長	<p>世界遺産推進課文化財室の岩崎と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>それではご報告させていただきます。現行委員総数15名で、本日の出席委員は9名でありますので、佐渡市歴史的風致維持向上協議会条例第5条第2項に規定する過半数を満たしているため、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。</p>
坂田課長	<p>それでは、本協議会条例の第5条の規定によりまして、以後の進行につきましては、岡崎会長をお願いを致します。岡崎会長、よろしくお願ひ致します。</p>
岡崎会長	<p>議事次第にありますように、今日の議事は、「歴史的風致維持向上計画書の本文（案）について」ということで、分厚い資料が事前に皆さんのところにも届いていたかと思ひます。報告事項として、今後のスケジュールというのが1件あります。この計画書ですが、かなり分厚いので2つに分けて議論をさせていただきたいと思ひているのですが、4章までのところは前段的な部分になります。2章の歴史的風致について、かなり細かく、たくさん書いてあります。さすが佐渡だなと思ひ、佐渡の文化の豊かさと、それらを大事にしてきた地元の方々の思いが詰ま</p>

	<p>っているなと思って拝見しておりました。ここはですね、いろいろあると思います。これからまた文化庁や国交省との協議でもまた修正が入るかと思えますし、細かいところをここで全て議論するにはちょっと時間が足りませんので、今回は、4章までは30分くらいで議論させていただいて、今後詰めていくなかで、もしお気づきの点があれば、事務局に言っていただければと思っております。この事業のメインとなるのは、この5章以下、特に6章あたりですので、質疑を含めて、4章までで30分、5章以降で1時間というような配分で進めさせていただきたいと思っております。こんな感じでよろしいでしょうか。</p> <p>では、全体の構成と、それから前半について事務局からご説明をお願いします。</p>
<p>本間係長・ 市川主事</p>	<p>—説明—※説明内容省略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致維持向上計画書の本文（案）について 事前配布資料
<p>岡崎会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>歴史的風致のところは膨大な量ではありますけど、今日議論しきれなかったところは、個別にまた事務局にいろいろご相談いただければと思っております。特に大きな間違いとかですね、明らかな誤りとか、そういうことを中心にご意見をいただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>久しぶりですので、わからないことも含めて何でも、一応、今日上手くいけば最後になりますので、質問・疑問等があれば遠慮なく何でも仰ってくださいと思います。</p>
<p>松川委員</p>	<p>内容というか文言というところで確認ですが、167 ページの上から 5 行目のところに「佐渡高等学校郷土芸能部」と書いてありますが、羽茂高校の郷土芸能部は私もよくお聞きするのですが、佐渡高校にもあるということですか。</p>
<p>市川主事</p>	<p>佐渡高校郷土芸能部は能や狂言を中心に活動をしております。</p>
<p>松川委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>それから 230 ページ、「歴史的風致の維持及び向上に関する課題」ということで、1 番 2 番とあって、2 番の「まち並み整備と防災・防犯に関する課題」がですね、書き出しが「相川市街地」で始まっておりまして、他の項目はどちらかという「佐渡市では」ということで、佐渡市全体の話から始まって、そのなかで特に相川はというふうに記載があるなか</p>

市川主事	<p>で、相川に限定するものなのかどうか。この後にくる課題、基本方針で すかね、そちらの方だと特に相川市街地に限られてはいないように読め るので、その辺りがどうなのかなということですよ。</p> <p>こちらに関しましては、特に木造建築物ですとか、路地が狭いところ を想定して書かせていただいた関係で、少し相川中心になってしまっ ているというところがございます。こちらの課題でございますけれども、 佐渡市全域の風致の維持向上に関する課題ということになりますので、 少し文字が足りないところは、修正等を加えてわかりやすく説明してい きたいと思っております。</p>
岡崎会長	<p>重点区域が相川なものですから、どうしてもなんとなくそっちに行き がちですけど、確かにこれは市全体ですし、課題等はあちこちでありま すので、それをちょっと修正してもらいたいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
加藤委員	<p>佐渡観光交流機構の加藤です。232 ページの観光客の減少の文言なの ですけども、3 行目くらいから「地域観光を取り巻く環境の変化や団体 旅行から個人旅への移行、訪日外国人の増加など、観光客の多様なニー ズに対応しきれなくなったことから」となっていますけれども、団体旅 行から個人旅への移行はよいのですが、訪日外国人の増加が平成 3 年を ピークに減少となった原因かどうかというところは、どうなのかなと思 っております。これはまた別のところで考えればよいのかなと思ってお ります。訪日外国人の増加が佐渡の観光客の減少になっているのかとい うと、それはちょっと違うのかなということですよ。</p>
市川主事	<p>ありがとうございます。ご指摘のとおりだと思います。そちらは前後 関係をまとめて書いてしまったためこうなっておりますので、少し読み やすく修正したいと思います。</p>
岡崎会長	<p>ちょっと私から一つ。3 章の歴史的風致の維持及び向上に関する方針 のところ、どこが適当かはあるのですが、建造物の修理の考え方の ところで、世界遺産関係や重要文化的景観の方の会議ではよく議論して いることなのですけども、全国的にいろいろ、佐渡でいうと宿根木でも いつも議論させていただいていることです。以前は、まだまち並み保存 が進んでいない時期は、とりあえず景観を統一するという方向で一から やってきたのですが、最近、段々そういう経験を積んできて、今新しく 課題になっているのは、とりあえず古っぽく見せるとか、計画すればい</p>

<p>本間係長</p>	<p>いということじゃなくて、一つ一つもうちょっと丁寧に考えて、本来建築としてあり得るのかどうかとか、その建物に相応しいのかどうかということまできちんと考えること。一般的に「オーセンティシティ」と呼んでいるのですが、本物ということですね。ただなんとなく古っぽければとか、なんとなくそれらしく見ればいいという時代じゃないよねという議論が最近進んでいて、世界遺産にも使われる「オーセンティシティ」という用語が、よくまち並みの整備でも言われるようになってきております。最近、新しくできる県の景観計画でもその文言を入れるようになったのですが、そこら辺もどこまで拾うか迷うところはあるのですが、もし入れることがあれば、できればその考え方も新しい考えとして書いていただくと、今後、また担当の方が代わったりしても、これ何だろうということであらうと気がついてもらえると思いますので、ご検討いただければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。とりあえずよろしいでしょうか。後でまた最後にご意見を伺いますので、後でまた思い出したら言っていただければと思います。一旦ここで次に進ませていただいてよろしいですか。</p> <p>では、5章以降の方の説明をよろしくお願いします。</p> <p>—説明—※説明内容省略</p> <p>(1) 歴史的風致維持向上計画書の本文(案)について 事前配布資料</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>では、5章から8章までについてのご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>特に6章の事業がずらずらとあった部分が一番中心の話になる訳ですが、ちょっとわかりにくいのが、元々これは歴まちをやる以前からやっていたこと、歴まちがなくてもやったであろうこともまとめて全部リストアップされているので、ちょっとわかりにくいのですが、この歴史まちづくり法に直結するのは、主に都市再生整備計画と書いてあるものが大体の主なイメージとさせていただければいいです。実際には、これからまた本当に事業をやる時には、その段階で協議会なり、地元の方にも当然ご説明、ご相談をやったところで進めていただくことになるかと思いますが、大きな方針について、ここで何かありましたら是非お願いします。</p>
<p>小林委員</p>	<p>第6章のところなのですが、300ページのところでレンタサイクルですか、電動自転車でしょうか。下町は平地なのでとても快適だとは思いますが、上町でも電動自転車に乗って来る人がいまして、私のところの家の前は、鉾山までもうちょっとのところなのですが、石段になって</p>

	<p>います。そこを持って降りるとい人はたまにはいるのですけれど、ほとんどの人が帰ります。逆に鉱山の第三駐車場の方から来た人は、下まで来て、また元来た道に戻って行きます。あの石段にアスファルトを張れというともた怒られるのですが、例えば今までの例でいうと、30cmから50cmくらいの板が石段の一方に付いているとかすれば、降りて運べるわけですね。それからもうちょっと便利のよいものがあるとすると、中寺町の瑞仙寺さん、相運寺さん、ここは石段で車が登れなかったわけですが、今は車の両輪が通れるところだけ平面にしています。世界遺産とか美観とかいろいろなことがあるのですが、それを壊さない程度に何かできると、上の方でも自転車を使えるかなと思います。そうすれば、電気自動車等はいらないかと思っているのですが、如何なものでしょうか。</p>
若林主任	<p>相川市街地全体が国の重要文化的景観という文化財に選定されておりまして、石段・階段等については、基本は現状を残していただくということにはなっております。しかし、今言われたような、利便性という部分についての課題もございます。今回の歴まち計画の290ページに階段整備事業というものがございまして万照寺さんの前の石段は現時点では事業範囲には入っておりませんが、本整備のなかで、文化財にも配慮した形でよい方法がないかということも、専門家からいろいろご意見をいただきながら、事業を進めていく計画となっております。そうしたなかで、また万照寺さんの前の石段も含めた形で検討をさせていただくという方向で、進めさせていただければと思っております。よろしくお願いたします。</p>
岡崎会長	<p>実際の整備段階では、全体のネットワークのことや、行ってみたら行けなかったということが無いように、マップとか、いろいろな情報とか、モビリティもいろいろあるし、数年後にはなにか新しいものがあるかもしれないので、実際の事業段階で詳細を、今のような意見も踏まえて詰めていただければと思います。</p>
小林委員	<p>もう一点よろしいでしょうか。どなたに言えばいいのかわからないのですが、上町そのものが、非常に道が狭いわけですね。特にこの後、島外の車が入ってくるとすると、私ら利用する人間として非常に困るのが、大工町の高田一方精さんのところから南沢へ下りていく道、皆さん方は通ったことがありますか。私らはあそこしか道がないので、車を運転するときはどうしてもあそこを通らないといけないのですが、交差ができないのです。まっすぐな道だったらバックができるのですが、大工</p>

	<p>町から南沢へ下りていくところは登ってきてもいいし、下ってきてもいいし、ちょうど真ん中辺りで車が鉢合った時に、どっちがバックすればいいのでしょうかね。非常にバックがしにくいので、簡単なことなのですが、大工町から下りてきて長浜数右エ門さんの工場というか、あれの裏側のところは道路脇が1mから1.5mありますので、簡単なものでよいので、そこでちょっと待避できる場所を作っていただければ、皆さん安心して通れるのです。ものすごく困っているのですけれども、それもまた無理でしょうか。以上です。</p>
岡崎会長	<p>個別の事業については、これもまた実際にやるなかでということになると思いますし、そういう場所は一箇所ではないと思いますので、観光客の車の乗り入れとか、交通規制とかいろいろなものを総合的に、今後検討していただくということになるとは思いますが、とりあえず今の時点ではどうですか。</p>
伊藤委員	<p>ご指摘、ご意見ありがとうございます。私も委員なのですが、少し回答になるかどうかわかりませんが、お話をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、京町通りからずっと狭い道ですから、なかなか行き違いが大変ですし、特におっしゃる大工町辺りからは狭い。それから大工町から南沢は、上位線にすぐに出られますから、生活の方々は佐和田方面へ行くといったらそこを通るのが最短というか、京町通りを下りるよりはかなり近道になりますので、生活をされている方は当然あそこをお使いになると思います。そのなかで、待避というのも今後検討していかなければいけないと思いますけれども。あとはですね、佐渡にはあまりないのですが、観光客が入ってくると確かに相当混乱すると思いますので、居住者以外進入禁止というのが、結構他ではあるのです。佐渡ではほとんど見かけたことはないのですが。要するに住んでいる方はこの区域内の道路に車で入って行けるけれども、その他の人は入れませんというような、そういう規制をすとか、一例ですがそういったことで、生活する方にはなるべくご不便をかけないような方法を、いろいろな観点から考えていきたいという風に思っております。それだけでは解決できないとは思いますが、そんな考え方も持っております。</p> <p>それから、最初に、レンタサイクルの話もありましたが、令和3年からの計画ですが、ひょっとしたら令和2年からできるかもというお話がありました。その辺は加藤さんの方が詳しいかもしれませんが、レンタサイクルも今は観光案内所とかそういうところで借りて、一箇所で借りて、乗って、そこで返すというレンタサイクルしかありません。今都会で増えていますが、まちなかのあちこちに自転車ただ無人で置</p>

	<p>いてあって、鍵は掛かっているのですけれど、スマホで QR コードをピッてやると解除ができて、料金決済もできて、そこから乗れます。それから、返す場所もまちなかに何箇所か置いて、どこでも好きなところで手続きというか、鍵をかけて、スマホでピッてやると返せるというような、こういったレンタサイクル、こういったスタイルを考えております。今の電動自転車をもちろん新しくすることもやっていかなければいけません。そういう新しいスタイル、いろんなまちのあちこちで自由に借りられて、あちこちで自由に返せる。先ほどおっしゃったのは、下からせっかく自転車で行ったら、祐玄さんのところから階段なので、そこから自転車で行けないからどうしようかという、そうすると、使えない自転車を置けるとそのまま金山に行けるのになあという話でしょう。上から来た人は、階段だと思って車を金山第三駐車場に停めて歩き出したら、なんだ道路があるのだったら車に戻ってまた行こうという話になるかと思うのです。万照寺さんの前にそういったレンタサイクルのスポットを置けるかどうかはまだわかりませんが、そういった形で、あちこちで借りられるようなレンタサイクルの形態も考えております。少し今までとレンタサイクルの使い方、部分的に自転車を使う、部分的に歩く、また途中からは自転車を借りるとというような、そんな観光スタイル、今までにないスタイルができるかなと考えております。</p>
<p>岡崎会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>事業の 297 ページから、資源の情報発信事業ということで、名称を見ると情報発信なので、ホームページとか SNS とか、そういうので情報発信するのかなと思ったら、中身がサインの話になっている。それと、その次のページのパンフレットの多言語化は、紙ベースの事業ということなので、できれば今時の計画に紙ベースの話ばかりではなくて、やっぱり WEB の事業を盛り込んだ方がよいと思う。それから、274 ページの方の活用・啓発のところ、やはり同じように述べているので、このあたりにやはり情報を出す入口が無いのかなという風に思います。そこでやはり、どこのホームページを使うのかまでは分からないですけども、例えばうちのホームページと連携しながら情報を出すとか、そういう書きっぷりの方がよいのかなと思います。</p>
<p>本間係長</p>	<p>ありがとうございます。今ここをこう直すと申し上げられない部分もあるものですから、それを踏まえてまた検討させていただいて、よりよい事業展開をしていきたいと考えております。</p>

岡崎会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>ちょっと私から一つ質問していいですか。269 ページにいろいろな組織の連携のところを書いてあったかと思うのですが、269 ページの (8) ですかね、文化財行政の体制と方針でいろいろな審議会等が書いてあるのですが、重要文化的景観の方のものが書いていないような気がします。それは書いた方がよくなかったりしますか。理由があればよいのですが、どうでしょうか。</p>
本間係長	<p>ご指摘いただいた例えば専門家会議といったところは、記載が確かにございません。今のまとめ方としましては、条例に基づく会議を記載させていただいたところがございますので、今ほどご指摘をいただいたところも含めて、また書きぶりを検討させていただきます。</p>
岡崎会長	<p>他にいかがでしょうか。前半のところで言い忘れたことなどありましたら、それも仰っていただいて結構です。</p> <p>よろしいようでしたら、とりあえず今回としてはこの計画書をご承認ということで、進めていただくということで。またもし、細かいこと等お気づきの点があれば、事務局にお伝えいただければ、随時検討いただけると思います。よろしいでしょうか。</p> <p>では、これで承認ということにさせていただきたいと思います。報告事項の今後のスケジュールについて、ご説明をお願いします。</p>
本間係長	<p>—説明—※説明内容省略</p> <p>・今後のスケジュールについて資料1</p>
岡崎会長	<p>スケジュールについては何かご質問はありますでしょうか。</p> <p>それでは、今日の内容はこれで終わりになりますが、最後ちょっと一言、気が早いといえ早いかもしいないのですが、一般的に、もしこれで世界遺産になるということで観光客が増えてくると、やっぱりいろんな問題も出てくるわけです。新聞等で京都の問題等ありますが、そういうところは先手を、ある程度、いろいろなやり方がありますが、例えば地元で協定を結んでおくとか、いろいろなことがあるのですが、今のうちに他所の事例も研究して、早めに手を打てるようにしておくことではないかなと思います。気が早いようではありますが、そういうことも合わせて進めていただければと思います。</p> <p>では、長時間に渡ってありがとうございました。これで事務局にお返しします。</p>

坂田課長	<p>岡崎会長、大変ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、協議会小林副会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
小林委員	<p>今日、第4回目の会議がこれで終了したということで、委員の方からも、代表の方、会長さんも島外からということで、大変ご苦労様でございました。原案を作ってくくださった事務局の皆さんも大変ご苦労様でした。一応、4つの課題に対して、それをどう解決していくのかということで、24の事業というか施策を、10年間かけて実施していくということで、10年間長いなと思うのですが、本当にこの計画通りにできていったら大変よい事だなと思って喜んでおります。今日は、皆さんいろいろなご意見をお出しいただきましてありがとうございました。</p> <p>この会議とはちょっと別ですが、昨日私たちで集まりまして、佐渡をどうすればよいのかということで、一番よいのは清掃・美化活動かと思います。島外から佐渡へ人がきた時に、「ここのバイパス両側草生えているなあ」なんて、ものすごく目立ちますので、「そういうことが無いように頑張っていきたいよね、佐渡中で頑張れるといいね」というような話を昨日はしておりました。</p> <p>本当に4回に渡りまして、皆さんありがとうございました。一応、原案はこれで承認されたということで、めでたいなというように思います。大変皆さん、ご苦労様でございました。終わります。</p>
坂田課長	<p>ありがとうございました。それでは最後に、当市、伊藤副市長がご挨拶を申し上げます。</p>
伊藤委員	<p>皆さんお疲れ様でした。お話もありましたように、このあとパブリックコメント、パブコメで大きな軌道修正がない限り、今日が最後となります。本当にありがとうございました。</p> <p>この歴まち計画を作成するにあたりまして、この協議会の他にもいろいろな方々からご意見を伺いました。一例としては、ワークショップでは、全6回で延べ77名の方にご参加いただきまして、いろいろなご意見をいただきました。それから、これまで5回開催しました事業検討部会、こちらでは地元の分団長の皆さん、その他有識者の皆様からいろいろなご意見をいただきました。この協議会をはじめ、ワークショップ、事業検討部会での意見を、市役所では何をしたかといいますと、皆さんのご意見を元に全課を招集しまして、庁内検討会で議論を深めまして、具体的な事業計画を練って参りました。皆様には、大所高所から総合的にご検討いただき、いろいろなご意見をいただきまして、本当に感謝を申し</p>

坂田課長	<p>上げたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>この協議会と密接不可分な世界遺産の方でございますが、先ほど岡崎先生からお話がありましたが、どうなっているか。今更私が申し上げるまでもなく、皆様にもいろいろな情報が届いていると思いますが、次の3月にまた推薦書原案を提出いたします。そして、7月中頃ですかね、オリンピックが始まる頃に代表が決まるということになります。今まで散々、いずれ、近々、来年は、次回こそと言っておりました、狼少年みたいになっておりますけれど、今年は相当風向きがいいですね。いろいろないい風が吹いてきておりますので、今回は佐渡に決めていただけるのではないかなと大きな期待をしております。岡崎先生からもありましたが、3月に推薦書を出す段階で、ライバルがないわけではありませんが、もう一箇所出しそうなところがございます。そこもいろいろ噂とか、情報収集をしますと、とりあえず今回出すけれども、数年後を見据えという感じで、そちらは初めてですので、一発で決まるとは思っていない。佐渡も今まで散々苦勞して参りましたので、恐らく佐渡で行けるのではないかなと思いますので、本当に、今度の今度こそ思っております。</p> <p>この歴まち計画、相川の重点区域に続きまして、行政と市民の皆様が力を合わせて、この力を合わせてというところが大変重要でございます。歴史的な景観や文化、文化遺産を守って継承するというところでございます。この世界遺産を目指す鉾山町相川がより発展していくことを、本当に、私共も皆さんも、本当に大きく期待していただいていると思っておりますし、ここを目指して行きたいと思っております。</p> <p>計画はほぼできましたけれども、このあとどのように実行していくのかというところがまた大事になっていきますので、是非とも、今後ともこの一連の流れをしっかりとチェックをしていただいて、いろいろな場面でご意見をいただけたらと思っております。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、佐渡市歴史的風致維持向上協議会の第4回の会議を終了いたします。大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(12:00 終了)</p>
------	--